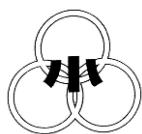


学校通信



みわ道

～学校・家庭・地域は「共育」のパートナー～

令和元年10月25日発行
 筑前町立三輪小学校
 所在地：筑前町新町400
 TEL：0946-22-2215
 文責：校長 東野 正美

自ら課題を設定し、解決できる子どもを

24日（木）に、三輪小・中学校共同で、福岡県重点課題研究指定・委嘱地域 中間報告会を行いました。「9年間を見通した授業作りと共通テーマを基にしたカリキュラム作成」を副主題とし、『自ら課題を設定し、解決できる子ども』を育てようと、小・中9年間を見通した年間計画を作成し、子どもの学びの系統性を重視しながら授業改善を進めてきました。

特に、今年度は、小・中で「問いや見通しを持つ」活動と「学びを振り返る」活動で授業スタイルの共有化を図ってきました。

当日は、福岡教育大学教職大学院特任教授である芋生修一先生をはじめ、たくさんの方々にご意見をいただきました。



三年「もの重さをしらべよう」の様子

子ども達が活躍するであろう2030年頃には、第4次産業革命といわれるように技術革新が一層進展し、日常の暮らしの中に人工知能などが普及すると考えられます。知識の習得はもちろん大切ですが、身の回りの様々な問題に立ち向かい、その解決に向けて多様な他者と協働して解決方法を探り出していく力を持った人材が求められます。そのためにも、義務教育9年間で、「自ら課題を設定し、解決できる子ども」を育てていきたいと強く願っています。

命に触れ合って

1年生が、生活科の学習で池田動物診療所の先生と看護師さん達に来ていただいて、うさぎと触れ合う学習をしました。「やわらかい」「あったかいね。」触れ合いを通して、命についても考えを広げていました。



☆「みわ道」の子☆

子ども達が使っている机やいすにテニスボールが付いているのをご覧になってあると思います。補聴器などをつけている耳の不自由な児童や、大きな音に敏感な児童は、椅子を動かした（引きずった）時に起こる大きな音はとても苦痛な場合があります。同時に、音の刺激を低減することは、どの児童にとっても学びやすい環境づくりに欠かせない視点です。

この環境づくりのために、本校の管理人の先生方にも尽力いただいています。1個1個のボールに穴を開けるという大変な作業を「みわ道」の子を支えようと、熱心に行っています。



大型で強い台風19号は、日本各地に強い風と豪雨をもたらしました。多摩川や千曲川など多くの河川が氾濫し、広範囲に浸水や土砂崩れなどの被害が出ています。私自身、東峰学園在任中に九州北部豪雨で被災した経験がありますので、被害の報道を見るたびに胸が痛みます。被害に遭われた方にお見舞いを申し上げますと共に、1日も早い復旧を祈るばかりです。

11月5日から、児童会を中心に「赤い羽根募金」を行います。この募金は、日常生活支援や地域の福祉事業に使われると共に災害対応・防災にも使われています。是非皆様のお気持ちを、よろしくお願いします。

